

金沢工業大学「プロジェクトデザインⅡ」 成果報告会

8月6日(月)、情報交流館カメリアで金沢工業大学の必修科目「プロジェクトデザインⅡ」の成果報告会が行われました。プロジェクトデザインⅡは市から提供された行政課題の解決策を金沢工業大学の2年生が提案するもので、今年は「消防団員の増加」や「つばきの郷公園の賑わい創出」など7つの課題に取り組みました。

報告会では、市職員に対し、学生が解決策を



提案。参加した学生は「1学期の間、案を練ってきたが、自分たちの考えだけで実行するのは難しいと感じた。今日は違う視点の考えを聞くことができ、とても参考になった」と充実した表情で語りました。

健 康 通 信

結核は、明治から昭和20年代までの間、「国民病」として恐れられてきました。50年前までは死亡原因の第1位でしたが、医療や生活水準の向上により、結核は完治できる時代になりました。しかし、今でも1日に50人の新しい患者が発生し、人が命を落としている重大な感染症です。日本全体の感染者数は約2千万人と推定されており、石川県では毎年100人以上の患者が発生しています。

かぜに似た症状が起こる

発病して初めてに起こる症状は、咳、痰、微熱、体のだるさなどです。初期症状はかぜに似ています。症状が

結核は、免疫の働きが低下すると、体内に潜んでいた結核菌が活動を始め、繁殖を抑えられなくなると「発病」になります。

発病した人の咳やくしゃみによって結核菌が体の外に排出されると、その空気中に漂っている結核菌を吸い込むことによって、周りの人を感じする恐れがあります（空気感染）。発病しやすいのは、主に免疫の働きが未熟あるいは低下している、乳幼児や高齢者です。

結核はどんな病気？

9月24日～30日は
結核予防週間

「感染」と「発病」の違い

結核について知ろう！

問い合わせ
◆健康推進課
☎248-3511



予防接種と検診で結核予防！

2週間以上続き、軽快と悪化を繰り返す場合は、医療機関を受診してください。咳が出るときにはマスクを着用しましょう。病状が進行すると、やがて血痰が出て、息苦しい、寝汗がひどい、食欲減退、体重減少などが起こるようになります。特に高齢者は倦怠感が続いたり、急にやせ衰えて弱ってたら、注意が必要です。

結核の予防には、乳幼児のBCGワクチンの予防接種が有効です。対象の人には市から接種券が送られるので、生後1歳までの間に必ず接種しましょう。

市の肺がん検診でも65歳以上の人を対象に結核検診を実施しています。毎年検診を受診し、肺に異常がないか確認しましょう。

日常生活では、バランスのとれた食事、適度な運動、十分な睡眠をとり、免疫力を高めることで結核の発病を予防できます。肺を守るために、タバコを吸わないことも大切です。

結核と診断されても、6ヶ月間毎日きちんと薬を飲めば治ります。しかし途中で服薬をやめてしまうと、治らないどころか、菌が抵抗力を失います。薬は指示通り、きちんと服用することが大切です。